



子どもたちの笑顔と元気を大切に

第1回「塩尻市中学校部活動地域移行等協議会」を開催しました

- ・令和5年9月20日（水）に、第1回協議会を開催しました。
- ・協議会では、国及び長野県の動向や塩尻市の取組状況等について情報を共有したのち、意見交換を行いました。
- ・委員より、長野県の方針が決まっていない段階で協議するのは時期尚早ではないかとの意見もあり、塩尻市が目指す姿などの決定は第2回協議会へ持ち越しとなりました。



【市教育委員会が実施したアンケートの結果】（第1回協議会資料から抜粋）

小学生（3年～6年 回答者数2,017名）

①放課後や休日に習い事をしていますか？

- ・している 69.7%（水泳、ピアノ、英語、サッカー等）
- ・していない 30.3%

②中学生になったら部活動をやりたいですか？

- ・やりたい 89.2%（バドミントン、科学、バスケット等）
- ・やりたくない 10.8%



中学生（1年～3年 回答者数1,362名）

①部活動に入っていますか？

- ・入っている 73.6%
- ・入っていない 26.4%

②（①で入っていないと答えた生徒に）入っていない理由は何ですか？

- ・他にやることがある 50.8%
（サッカークラブチーム、硬式野球、柔道など）
- ・学校にやりたい活動がない 25.3%



顧問の教員（回答者数62名）

①どんな思いで顧問をしていますか？

- ・部活動の指導が好き 40.3%
- ・生徒のため仕事だと思ってやっている 43.5%
- ・やりたくないが仕方なくやっている 11.3%
- ・その他 4.9%



保護者（回答者数1,904名）

①部活動の地域移行について懸念していることはありますか？（複数選択）

- ・保護者の送迎 64.2%
- ・活動場所までの移動 56.2%
- ・活動費用の負担 44.4%
- ・指導者の教える態度 29.2%
- ・子どもがやりたい活動があるか 29.1%



コーディネーターのつぶやき①

その昔、日曜日の部活動はありませんでした。1992年第2土曜日が休日に、2002年に完全週休二日制になりました。この10年ほどの間に休日の部活動が熱気を帯びてきました。エネルギーを持って余す生徒がいて、いわゆる「荒れた中学校」が社会問題となった時には、健全な学校にするための一つの柱として位置づけられた時もありました。かくいう私も生徒たちの生き生きとした表情や、ひたむきに頑張る姿から、部活動の顧問としてやりがいを感じていた記憶が蘇ります。

部活動は長きに渡って続いてきた日本ならではの文化なので、このあり方を変えることは簡単なことではありませんが、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わったことを実感しています。検討していかなければいけないことが山積していますが、今を生きる子どもたち、これからを生きる子どもたちが、笑顔で活動できる持続可能な環境を作ることは、大きな命題だと感じています。

（お知らせ）広報しおじり11月号に部活動地域移行の特集記事が掲載されました。ぜひご一読ください。

